

2021年10月29日

各 位

日本エス・エイチ・エル株式会社
 代表取締役社長 奈良 学
 (コード: 4327、JASDAQ)
 問合せ先: 取締役 中村 直浩
 TEL: 03-5385-8781 (代表)

剰余金の配当（期末配当及び特別配当）に関するお知らせ

当社は、2021年10月29日開催の取締役会において、以下のとおり、2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて、2021年12月18日開催予定の第35期定時株主総会に付議させていただくことを決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2021年7月30日公表)	前期実績 (2020年9月期)
基 準 日	2021年9月30日	2021年9月30日	2020年9月30日
1株当たり配当金	62円00銭	38円00銭	60円00銭
配当金総額	371百万円	—	359百万円
効力発生日	2021年12月20日	—	2020年12月21日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

(注) 2020年9月30日基準日の配当金の内訳: 普通配当40円00銭、特別配当20円00銭
 2021年9月30日基準日の配当金の内訳: 普通配当47円00銭、特別配当15円00銭

2. 理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要事項のひとつと位置付け、経営体質を強化するために必要な内部留保を勘案しつつ、配当性向50%（具体的には、当期純利益の50%を配当金総額とする考えをいう）を基準として、安定かつ積極的な株主への利益還元に取り組むことを基本方針としております。また、自己株式の取得については、資本効率の向上等を目的に機動的かつ弾力的に実施する方針であります。なお、当社の剰余金の配当は、中間配当及び期末配当の年二回としており、配当の決定機関は、中間配当は取締役会、期末配当は株主総会としております。

当事業年度の業績につきましては、売上高（3,300百万円）は修正予想（3,280百万円）を20百万円上回り、営業利益・経常利益・当期純利益につきましても修正予想をそれぞれ21百万円・21百万円・12百万円上回る結果となりました。これは、当事業年度におきまして、新型コロナウイルス感染拡大懸念のもと、Webアセスメントツールを中心とした三密（密閉、密集、密接）リスクが低いもしくは回避可能なサービスが、顧客から支持されたことにより増収を確保できた結果と考えております（当事業年度の業績につきましては、2021年10月29日に開示した「2021年9月期 決算短信」をご参照ください）。

以上の基本方針及び当事業年度の業績を勘案いたしまして、当事業年度の1株当たり期末配当を47円の普通配当に15円の特別配当を加えた合計62円とし、1株当たり中間配当38円と合わせて1株当たり年間配当額100円とさせていただきますと考えております。

※配当予想について

2022年9月期の配当予想につきましては、1株当たり年間（普通）配当額86円とさせていただきたく考えております。この金額は、当事業年度の1株当たり年間（普通）配当額85円と比べ1円の増配であります。

基準日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
配当予想 (2022年9月期)	43円00銭	43円00銭	86円00銭
当期実績 (2021年9月期)	38円00銭	普通配当 47円00銭 特別配当 15円00銭	普通配当 85円00銭 特別配当 15円00銭
前期実績 (2020年9月期)	36円00銭	普通配当 40円00銭 特別配当 20円00銭	普通配当 76円00銭 特別配当 20円00銭

以 上